



西条市長 伊藤宏太郎

新年明けまして、おめでとうございませう。謹んで初春のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご健勝と限りないご清福を、心からお祈り申し上げます。

昨年11月に執行された市長選挙におきまして、市民の皆様の審判を賜り、引き続き市政運営の重責を担うこととなりました。

皆様からの熱いご期待と信任に応えるためにも、初心に立ち返り、「毎日が任期満了日」との緊張感を胸に、ふるさと西条の「元氣アップ」に全力をあげて取り組んでまいります。

さて、年頭にあたり、昨今の本市を取り巻く情勢に目を向けますと、市民生活を直撃した原油価格の高騰は、ようやく沈静化しましたものの、米国を震源地とする国際金融市場の混乱が新たに発生、世界経済の失速を招き、今や世界同時不況の様相を呈しております。そして、グローバルゼーションの下、今回の金融危機と世界不況は、原油や原材料価格の高騰に加えまして、円高や株価の下落、外需の落ち込みなどの深刻な影響を我が国にもたらしております。

また、国政においても、緊急の課題である追加経済対策が停滞するなど、その混乱は、国民の暮らしの安心と安全を大きく揺るがしている状況にあります。

こうした中、西条市においては、市民の皆様と企業各位の懸命のご努力によりまして、法人市民税の収入はこの間、20%を超える高い伸びを示し続けています。

さらに、国内最大級の広さを誇る屋内運

動場「ビバ・スポルティアSAIJO」が待望のオープンを迎えるとともに、今年6月の開館をめざして新図書館の建設も順調に進捗し、また、未就学児医療費の完全無料化の実現、食の創造館を拠点とした水・食・農情報の活発な発信など、着実な市勢の伸長と、まちづくりの進展を持続しているところでありませう。しかしながら、最近の社会経済情勢を鑑みますと、本市も非常に厳しい状況の下にあると、痛感せずにはいられません。また、その前途には、市民の皆様「安心・安全・健康」にかかわる幾多の課題も山積しております。

であればこそ、こうした現実にはむかへなく、地域資源を活かした産業振興を主軸とする首尾一貫したまちづくり施策を、スピード感をもって推進し、厳しい時代にも耐え得る本市の「自立」と「自活」の実現につなげてまいりる所存であります。

そして、全国に誇れる農業生産力や、四国屈指の工業集積に裏打ちされた「西条パワー」を最大限に発揮し、財政力を強化しながら、地域の均衡ある発展、さらには、市民の誰もが「西条に住んでよかった」と安心を実感できるまちづくりに、情熱をもって取り組んでまいりる覚悟であります。

本年も旧に倍しましてのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成二十一年元旦